

超介護時代 10年後の 天国と地獄

【連載】④

50歳以上の介護離職者増加が年々深刻化している。親の介護をしながら働いている人は290万人(2013年7月時点、総務省「就業構造基本調査」)にのぼる。また、身近な人の介護のために会社を辞める人の数は年間10万人もいるというから驚きだ。

12年9月は19.5%にハネ上がった。年齢階級別では、60〜64歳が35.7%、55〜59歳が18.9%、50〜54歳が13.5%で、50〜64歳が約7割を占める(最新データは11年10月〜12年9月)。50歳を越えた途端、介護離職リスクは急カーブで上昇するといっている。

特にここ数年は、男性会社員の離職率がジワリジワリと増加している。先の総務省の調査にこんな数字がある。

「親が元氣なサラリーマンだっただけでリスクはゼロではない。本連載の1回目で述べた通り、10年後には、75歳以上の3人に1人は介護老人になる現在、60代後半の親を持つ40代にまで大変な時代がヒタヒタと迫っているのだ。」

盛岡で冬に商売をするのは難しいですね。大雪は降りませんが、気温はマイナスになりますから、みな家から出なくなりますが、冬だからって売れないわけじゃないんです。お客さん待

リーマン時代

仕入れをしていました。この人が買ってくれるというお客さんの顔が見えているからできるわけです。訪問販売で売り上げ出さずに「新作を持ってこれるはず」と確信が

40歳 ④



1976年、岩手県生まれ。23歳から呉服屋の営業の傍ら、民謡歌手として歌手活動を始める。36歳の時に民謡大会で優勝、首都圏、海外にまで活躍する。



16時以降は歌の仕事。それがあり得る。そんな夕飯の準備。信用問題。一度噂が立ってしまったら、そ

「親1人子1人」は18万世帯に

介護離職リスク 50歳から急上昇



「仮に、親が寝たきりになつたからといっても、すぐ会社に辞めてはいけません。退職金などを当てにして、1日に1万〜2万円かかると、10年後には、75歳以上の3人に1人は介護老人になる現在、60代後半の親を持つ40代にまで大変な時代がヒタヒタと迫っているのだ。」

自治体のサービスを徹底利用す。日本の世帯数の将来推計では、高齢者世帯のうち「親1人子1人」の増加を指摘している。息子が一人で親の介護をする可能性は高くなる一方だ。000世帯から18万000世帯へと約3万世帯という。

「在宅介護者向けに通いを中心にしたショートステイや、訪問を組み合わせて使う。最後に、介護は一人に小冊子で設置して親が健康寿命の74歳をいってきたら、常に情をしておくのが得意

「一実際、長男などホームも在宅介護者向けにショートステイを受け入れており、1カ月に1回(1週間程度)使う方法もありま

「退職金などを当てにして介護離職してしまつて、親の死後に再就職もできず、自身が生活苦に陥るケースを多々見かけます。多少、職者は年間10万人もいる。

「あすは「介護保険料は1万円を超えるか?」